

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ゆいわーく茅野 人財養成・交流事業
事業主体 (連絡先)	茅野市 市民活動センター (TEL 75-0633)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,707,413 円 (うち支援金: 1,893,000 円)

事業内容

福祉、環境など特化した人財養成プログラムでなく、あらゆる分野を対象としたまちづくりに関わる人財の養成・育成事業を行うことで、自ら課題解決できる自立した市民の創出につながる事業を実施。

また、個人や団体単独ではなし得ない課題の解決のために、協働の機会やネットワーク構築を目的に交流事業を実施。持続可能なまちづくりを目指す事業を行った。

- ・人財養成・育成講座 6事業
- ・交流事業 2事業



【交流会の様子】

事業効果

人財養成講座は、全ての講座においてワークショップ等の実践を取り入れることで、新たな市民活動の創出につながった。協働事業、新たなイベントの実施や新たな取組につながった。

【29年度新たな創出事業の具体例】

- ・大学生、市民、企業、行政の協働による市民イベントコラボ企画
- ・小学生、NPO法人、ボランティア団体、企業、行政の協働によるウッドデッキ製作
- ・講座受講生による新たなイベント実施
- ・講座受講生による地域での女性居場所づくり 等 12件

【29年度講座実績】

- ・市民活動実践講座 19名 ・ひと・まちカレッジ 138名 ・市民活動講演会 111名
- ・まちづくりコーディネーター養成講座 12名 ・まちづくり講座 20名
- ・ゆいわーく祭り 1,700名 (市民による実行委員会 14名) ・記念講演会 300名
- ・市民活動交流会 110名

今後の取り組み

- ・講座の発題者を市民団体から選出し、身近な事例から市民活動を知り学び合うとともに、参加・参画・協働の機会を生み出す。
- ・全ての講座にワークショップ等の実践を取り入れることで、受講生同士が学び合い、合意形成の手法を身に付けるプログラムとし、併せて、市民や市民活動の自立を促す。
- ・市民活動参加(アドバイザー)をメイン講師とすることで、その時だけの学びでなく講師とセンターがフォローしながら、実践に繋がる講座を実施する。
- ・来年度も受講生の募集を幅広く行い、これまで講座やイベントに参加したことのない方への周知と参加を促進する。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・目標を上回る創出事業数
- ・全ての講座において受講生が定員を超えた。
- ・交流事業などを通じて、当施設を知り、講座などへの参加へつながった。
- ・実践と講義を組み合わせたプログラムのため、受講生本人の実践に繋がった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある